

**【2024 年度】TUFS データサイエンス教育プログラム（たふ DS）  
自己点検・評価結果について**

**1. 実施体制**

- ◆国立大学法人東京外国語大学総合戦略会議教育アドミニストレーション・オフィス データサイエンス教育部会において、自己点検・評価を実施した。

＜構成員＞

|              |     |        |       |
|--------------|-----|--------|-------|
| ・副学長         |     | 武田 千香  |       |
| ・大学院総合国際学研究院 | 教 授 | 佐野 洋   |       |
| ・大学院総合国際学研究院 | 准教授 | 望月 源   | ○     |
| ・大学院総合国際学研究院 | 准教授 | 出町 一恵  |       |
| ・大学院総合国際学研究院 | 准教授 | 東城 文柄  |       |
| ・大学院国際日本学研究院 | 教 授 | 林 俊成   |       |
| ・大学院国際日本学研究院 | 准教授 | 小野塚 若菜 |       |
|              |     |        | ○＝部会長 |

**2. 自己点検・評価の観点**

次の観点に基づき、自己点検・評価を実施した。

- (1) プログラムの履修・単位修得状況
- (2) 学修成果
- (3) 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度
- (4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度
- (5) 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況
- (6) 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること
- (7) 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること
- (8) 学外からの視点

### 3. 自己点検・評価結果

本プログラムは 2022 年度から開始し、前年度の学生による授業評価アンケートでは比較的高評価を受ける結果となった。プログラム 3 年目となる 2024 年度は、前年度の自己点検・評価結果を受け、より学生の教育効果を高めるために授業内容の改善を行った。学期末に実施する授業評価アンケートでは総回答者数は延べ 211 名（リテラシー・レベル：18/82 名、リテラシー・レベル以外：193/815 名）であったが、この結果、前年度と比較して、総体としては評価は向上し、プログラム全体の教育効果及び学生の満足度は十分に得られたと判断した。今後、学生側の「わかりやすさ」の向上という観点からも、継続して授業の改善を行っていく。

2024 年度における観点ごとの自己点検・評価結果は、次のとおりである。

| 観点ごとの自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) プログラムの履修・修得状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>【リテラシー・レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「リテラシー・レベル」を構成する授業の科目数及び受講者数は、3 科目・延べ 82 名であった。</li><li>・構成する授業科目における受講者の「単位修得率」（単位修得者/受講者数）は、平均で 81.7%であった。</li><li>・上記の状況から、受講者は、おおむね順調に単位を修得したと判断する。</li></ul> <p>【リテラシー・レベル以外】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「リテラシー・レベル」以外の授業を構成する科目数及び受講者数は、25 科目・延べ 815 名であった。</li><li>・構成する授業科目における受講者の「単位修得率」（単位修得者/受講者数）は、平均で 84.2%であった。</li><li>・上記の状況から、受講者は、おおむね順調に単位を修得したと判断する。</li><li>・全体の状況は上記のとおりであるが、個々の授業により数値にばらつきがある。構成する授業科目の内容は多様であり、授業の内容や進捗により、受講者の興味・関心によっては、途中で離脱した者もいると推察される。関係教員間で情報の共有を図り、今後の検討に資することとする。</li></ul> |
| (2) 学修成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>【リテラシー・レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q12. 授業の履修前と比べて自分の知識や能力に伸長があった」及び「Q7. 今後の学習意欲がわく授業だっ</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

た」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

| Q12. 知識や能力に伸張があった | Q7. 今後の学習意欲がわく |
|-------------------|----------------|
| 88.9%             | 72.2%          |

- ・上記の状況から、学修成果はおおむね順調に得られていると判断される。

【リテラシー・レベル以外】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q12. 授業の履修前と比べて自分の知識や能力に伸張があった」及び「Q7. 今後の学習意欲がわく授業だった」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

| Q12. 知識や能力に伸張があった | Q7. 今後の学習意欲がわく |
|-------------------|----------------|
| 94.3%             | 82.4%          |

- ・上記の状況から、学修成果はおおむね順調に得られていると判断される。

(3) 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

【リテラシー・レベル】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q6. 内容が充実した授業だった」及び「Q5. 講義内容はわかりやすかったか」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

| Q6. 内容が充実した授業だった | Q5. 講義内容はわかりやすかった |
|------------------|-------------------|
| 61.6%            | 77.8%             |

- ・上記の状況から、学生の内容の理解度はおおむね順調に高まっていると判断される。

【リテラシー・レベル以外】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q6. 内容が充実した授業だった」及び「Q5. 講義内容はわかりやすかったか」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| Q6. 内容が充実した授業だった | Q5. 講義内容はわかりやすかった |
| 79.8%            | 91.2%             |

- ・上記の状況から、学生の内容の理解度はおおむね順調に高まっていると判断される。

#### (4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

##### 【リテラシー・レベル】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q13. 総合的に見てこの授業に満足した」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

|                      |
|----------------------|
| Q13. 総合的に見てこの授業に満足した |
| 72.2%                |

- ・上記の状況から、他の学生への推奨度はやや下がっているが、関係教員間で情報の共有を図り、今後の検討に資することとする。
- ・また、個々の授業に関する自由記述の設問において、肯定的なコメントも寄せられている。

##### 【リテラシー・レベル以外】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q13. 総合的に見てこの授業に満足した」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

|                      |
|----------------------|
| Q13. 総合的に見てこの授業に満足した |
| 90.7%                |

- ・上記の状況から、他の学生への推奨度はおおむね順調に高まっていると判断される。
- ・また、個々の授業に関する自由記述の設問において、肯定的なコメントも寄せられている。

#### (5) 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

##### 【リテラシー・レベル】

- ・構成する授業科目3科目における総受講者数は、合計で延べ82名であった。

- ・本プログラムに係る本学HPの充実を図ることにより、一層の周知を行う必要がある。
- ・本プログラムは、2023 年 8 月に文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定された。これを受け、より多くの学生に本プログラムへの理解を深めてもらうことを目的として、本学HPや学務情報システムを通じて、学生への周知を図っている。

【リテラシー・レベル以外】

- ・履修者数や履修率に関して、特段の計画を立てていないが、向上に向けて、リテラシー・レベルも含めて、学生への一層の周知を図ることとする。
- ・データサイエンス担当教員のゼミでの学びなどを通じて、学生への一層の周知を図る。

(6) 数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

【リテラシー・レベル】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q7. 今後の学習意欲がわく授業だった」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

|                |
|----------------|
| Q7. 今後の学習意欲がわく |
| 72.2%          |

- ・上記の状況から、学生は学ぶ楽しさ・意義をおおむね順調に理解していると判断される。

【リテラシー・レベル以外】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q7. 今後の学習意欲がわく授業だった」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

|                |
|----------------|
| Q7. 今後の学習意欲がわく |
| 82.4%          |

- ・上記の状況から、学生は学ぶ楽しさ・意義をおおむね順調に理解していると判断される。

(7) 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

#### 【リテラシー・レベル】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q5. 講義内容はわかりやすかったか」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

| Q5. 講義内容はわかりやすかった |
|-------------------|
| 77.8%             |

- ・上記の状況から、学生からは分かりやすい授業であるという認識を順調に得ていると判断される。

#### 【リテラシー・レベル以外】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q5. 講義内容はわかりやすかったか」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

| Q5. 講義内容はわかりやすかった |
|-------------------|
| 91.2%             |

- ・上記の状況から、学生からは分かりやすい授業であるという認識をおおむね順調に得ていると判断される。

### (8) 学外からの視点

#### 【リテラシー・レベル】

- ・本プログラムは2023年8月に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育リテラシープログラム（リテラシー・レベル）」の認定を受けた。  
初年度の修了者は4名であったが、今年度は6名の修了者が出た。
- ・本学が実施している卒業生アンケートでは、卒業後にデータサイエンスのスキルを新たに求められることが増えているという声が寄せられており、本プログラムは社会人に求められる基礎的な知識を提供する内容となっている。今後、本プログラムの履修によって身に付けられる能力等について、学生に向けてより理解を深められるよう、広報活動を強化する。

#### 【リテラシー・レベル以外】

- ・リテラシー・レベルでの検討状況に併せて、対応を図る。

以上